

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成27年1月15日 NO.73 (173)



花ちゃん 「あれあれ？^{うえ}上の^{しゃしん}写真はなんだろう。」

モンタ博士 「よく^き聞いてくれたね。花ちゃん！この^{まえ}前はオオムラサキの^{ようちゆう}幼虫のお話^{はなし}だったけど、^{きょう}今日も冬の^{ふゆ}自然^{しぜん}観察^{かんさつ}のお話^{はなし}だよ。」

オー君 「^{なん}何ですか、^{うえ}上の^{しゃしん}写真は・・・？」

モンタ博士 「あのね、^{きょねん}去年^{はな}お話しした『シモバシラ』って^{おぼ}覚えているかな。」

花ちゃん 「はい、えーと、シモバシラは、^{つち}土の中の^{なかに}水分^{すいぶん}がこおってできたもので、^{つち}土の中の^{なかに}温度^{おんど}が0度^{どいじょう}以上^{きおん}で、^{どい}気温^かが0度^{とき}以下の^{とき}にできるんですね。」

モンタ博士 「その^{とお}通りだね。それから・・・。」

花ちゃん 「^{つち}土の中の^{なかに}水分^{すいぶん}が、^{ちひょうめん}地表面^{つち}でおると、^{なかに}土の中の^{すいぶん}水分^{つぎつぎ}は次々に^{ひょうめん}表面^あに上がって、^あ上がってきた^{すいぶん}水分^{こおり}は、こおった^あ氷^あをおし上げるわけです。そして、シモバシラは^{どん}どん^のびるんです。」

オー君 「そこまではわかったけど、写真とどう関係あるの。」

モンタ博士「そこからはモンタ博士が登場。写真はシモバシラという『植物』なんじゃ。」

花ちゃん 「シモバシラという植物があるんですか。」

モンタ博士「この植物は、ふつうに花を咲かせた後、冬になると大変身するんだよ。」

オー君 「大変身？どういうことですか。」

モンタ博士「かれたこの草の根元を見ると、茎のまわりに氷ができて、霜柱のようになって、『氷の彫刻』を作るのさ。」

花ちゃん 「『氷の彫刻？』『氷の芸術』ですね。なんだかとってもステキですね。」

モンタ博士「この冬休みに、友達とこの『氷の彫刻』を見るために、奥多摩の山に行ってきたんだよ。」

オー君 「その時の写真が左上にあるものですね。」

モンタ博士「そうだよ。その時、モンタ博士はデジカメを忘れてしまって、友達佐々木さんという人が写真を撮ってくれたんだ。他にも下のような写真もあるんだ。どれもこれも『氷の芸術』だね。」



花ちゃん 「ほんとうにきれいですね。わたしも本物を見てみたいです。」

オー君 「ぼくも見たくくなりました。」

モンタ博士「そうだね。冬だといってもいろいろと観察するものはあるんだね。」

花ちゃん 「わたし、てくてくしたくなりました。」

オー君 「ぼくも、寒くても元気を出して、てくてくするぞ。」

モンタ博士「そうだね。それでは、みんなで木の冬の芽を見に行こうか。」 つづく・・・。